

# 放課後等デイサービス キッズボンドえぎら 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	訓練指導室は、利用人数や活動に応じて広く使えるように工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	2	1	原則として、児童2.5人に対し1名の指導員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	0	訓練指導室からトイレまでは、バリアフリーになっており、車いすでも利用できる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2	0	ミーティングを実施するときは、職員全員から意見を聞き、情報共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	3	1	年一回の評価を実施している。保護者とLINEや電話で連絡を取り、ニーズに応えた業務改善している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	3	0	ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	1	相談支援専門員に見学して頂き、意見を取り入れたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	0	定期的な研修会を実施している。動画により全ての職員が参加できる機会を作っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	Asistを活用し、アセスメントを実施。計画作成にあたり、スーパーバイズを受けている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	AsistやVineiand- IIを活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	1	原案を担当者が決め、職員の意見や情報を出しながら決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	1	それぞれの児童に合わせた活動を実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	3	0	平日と学校休業日では支援内容を変えている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	3	0	職員会にて個人活動や集団活動の様子を共有し、支援方法の計画を作成。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	0	4	0	支援内容や児童の様子などを共有し、共通認識につとめている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	1	支援記録をまとめながら振り返り、気づき課題を話し合っている。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	支援終了後に記録に残し共有する。問題点やできたことなどを話し合い、共有し、支援に反映する。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2	0	モニタリングを通して保護者の意見や思いを受け止めて行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	3	0	制作・食育・おでかけなど組み合わせさせて支援している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2	1	サービス担当者会議が開催されていない。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	1	1	保護者とは連絡帳やLINEでのやりとり、電話を通して連絡を取っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	0	該当者はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	0	必要に応じて行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	0	学校を卒業し障害福祉サービス事業所へ移行する児童はいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	1	児童発達支援センター、発達障害者支援センター、専門機関との連携はとっている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	4	放課後児童クラブや児童館との交流の必要性はあるので、今後働きかけていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	2	参加する機会がなかった。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	0	連絡帳、LINE、インスタ等を使いお子様の様子をお知らせするとともに共通理解を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	相談体制はあるがペアレント・トレーニングまではできていない。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	3	0	契約時に書面で説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2	0	必要に応じて対応している。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	4	父母の会や保護者会を設けていない。教室の活動に参加し連携を取っていただく。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	速やかに管理者が対応するよう心掛けている。職員に周知し、対応策も話し合っている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	毎月、「キッズbond通信」「行事予定表」を発行し、活動の様子をお知らせしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	書類は鍵付キャビネットで保管し、通信やSNSなどの写真にはモザイクをかけている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	あいまいな言葉や表現を使わないようにしたり、絵カードなどの活用をしたり工夫している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	2	地域住民が参加できるイベントを計画し行っていきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	4	0	書類にして周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	3	1	消防署に来ていただいて職員への防災指導や避難訓練を行っていきたい。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	0	研修参加し、適切な対応ができるように努めている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3	0	身体拘束について契約時に説明し同意書に署名していただいている。その旨を運営規定に記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	4	0	母親の指示に従い対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	事例があった場合は、速やかに報告書を作成し全職員に共有できるようにしている。その都度ミーティングを行い再防止に努めている。